最優秀に県建設業協会

四国新聞広告賞

インパクトの強さ評価

デザインやコピー、独創性に優れたローカル広告に贈る「第44回四国新聞広告賞」の表彰式が18日、高松市中野町の四国新聞社であった。人気アートディレクターの佐藤可士和氏らが審査し、最優秀賞には建設業界からのメッセージをテーマにした県建設業協会（森田紘一会長）が輝いた。

四国新聞広告賞は１９７１年に創設。昨年11月から今年10月末までの１年間に四国新聞本紙や生活情報紙オアシス、健康新聞、こどもニュース＆スポーツに掲載された作品を対象に募集、計34点の応募があった。

同協会の作品「ＤＯ　ＹＯＵ　ＫＮＯＷ？　建設業がどんな仕事か知っていますか？」は、昨年11月18日に本紙に掲載された見開きの全面カラー広告。目にも鮮やかな黄色一色の背景に、英語のキャッチコピーや重機のシルエットが並び、建設業が担う役割や仕事の魅力をアピールしている。審査員の佐藤氏は所用で欠席したが、「色づかいに強いインパクトがあり、写真ではなくシルエットを使ってモダンなイメージにして見せることに成功した」との講評を寄せた。

表彰式には、受賞企業や団体、制作した広告代理店の代表者らが出席。四国新聞社の泉川誉夫執行役員広告局長が表彰状を手渡した。受賞者のあいさつでは、県建設業協会の朝倉一郎副会長が「人材不足の建設業を広く知ってもらい、若い人に末永く続けられる職業であることを伝えたかった。受賞を機にさらに浸透させていきたい」と語った。

受賞者は次の通り。

【最優秀賞】香川県建設業協会【優秀賞】ＳＴＮｅｔ▽ベルモニー▽香川県【奨励賞】ピンクリボンかがわ県協議会▽香川県・香川県環境保全公社▽四国明治乳業【特別賞】穴吹興産▽電通西日本高松支社

受賞した広告と表彰状を掲げる各代表＝高松市中野町、四国新聞社

※無断転載、複製及び頒布は禁止します。　（c）四国新聞社